

お子さんの「きこえ」の手引き 主な改正点（案）

頁	項目名	変更点
5	2 新生児聴覚検査から療育までの流れ	<ul style="list-style-type: none"> ・先天性サイトメガロウイルス感染症の検査に関する内容を追加。 ・先天性サイトメガロウイルス感染症の検査についてフローに追加。
6	3 新生児聴覚検査について (5) 検査方法	<ul style="list-style-type: none"> ・初回検査及び確認検査は自動聴性脳幹反応検査（自動ABR）で実施することが望ましい旨文言修正。
7	(6) 新生児聴覚検査（初回検査、確認検査）の結果と対応 ②リファー（要再検査、Refer）	<ul style="list-style-type: none"> ・先天性サイトメガロウイルス感染症の検査に関する内容を追加。 ・自院で検査できない場合、紹介先となる検査対応可能な精密・二次聴力検査機関について追記。
8	4 精密検査について	<ul style="list-style-type: none"> ・先天性サイトメガロウイルス感染症の検査が陽性だった場合は生後2週間以内、「陰性」だった場合は生後3週間以内を目途に精密検査を実施する旨追記。
13	6 地域における支援体制について (2) 関係機関の役割 ①医療機関の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・確認検査リファーの児について、精密検査と併せて先天性サイトメガロウイルス感染症の検査も早期に受けられるよう配慮する旨追記。
17	③市町村の役割 (検査結果がリファーの場合)	<ul style="list-style-type: none"> ・検査結果がリファーの場合、先天性サイトメガロウイルス感染症の検査の結果確認と未受診の場合、受診予定日等を確認する旨追記。
20～52	7 社会資源リスト（北海道版） 8 資料編	<ul style="list-style-type: none"> ・経年のなかで情報が更新される情報（検査が実施可能な分娩取扱医療機関、二次・精密聴力検査機関リスト、各種様式等）などは、掲載先URLやQRコードとする。

* 保護者向け三つ折りリーフレットについても手引きに基づき見直し予定。